

市長による市政報告会

はつかいち未来ビジョン2035
令和8年度実施事業・施策

日時：令和8年7月2日（木） 18時30分～
場所：ひろでん宮島まちづくり交流センター

はつかいち未来ビジョン2035（廿日市市総合計画）

計画期間：2026（令和8）～2035（令和17）年度

＜総合計画＞

長期的な視点で、市政を総合的かつ計画的に運営するためのまちづくりの指針で、本市の羅針盤となる計画（基本構想及び基本計画で構成）

・基本構想

まちづくりの基本理念や将来像を定める基本的な構想

・基本計画

基本構想の実現に向けて取り組む施策を体系的に記した計画



はつかいち未来ビジョン2035（廿日市市総合計画）

基本理念

市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり

まちの将来像

安心に包まれ ワクワクが広がる 未来への挑戦を楽しむまち
つなぎ つながり とともに歩む

将来像の実現に向け、大切に考える考え方

- ① 社会変化に対応した持続可能なまちづくり
- ② 安全・安心な暮らしの確保
- ③ 多様性と包摂性のある地域社会の実現
- ④ 多様な主体によるまちづくり

将来のまちの姿と施策分野

1 こども・子育て・教育

みんなで子育てを支え、
こどもや若者の成長に喜びを感じられるまち
こどもが心身ともに健やかに成長し、自らの
可能性を信じてチャレンジ・自己実現できるまち

2 健康・福祉

つながり、支え合い、笑顔で暮らせるまち

3 安全・安心

誰もが安全に、安心して過ごせるまち

4 産業

「はつかいちらしさ」を活かし、
地域経済の好循環により発展するまち

5 生涯学習・スポーツ・文化

生涯にわたって自分らしく
心豊かに暮らせるまち
歴史や伝統文化を守り、活かし、伝えるまち

6 都市基盤

都市機能が充実し、
安全・安心で快適に暮らせるまち

7 環境

自然と社会が共生できるまち

8 地域づくり・人権・多文化共生

誰もが学び、つながり、活躍することで、
地域らしさをともに守り創れるまち
誰もが他者との違いを認め合い、
安心して暮らせるまち

「はつかいち未来ビジョン2035」に掲げる 10年後のまちの将来像

『安心に包まれ ワクワクが広がる
未来への挑戦を楽しむまち
つなぎ つながりとともに歩む』

廿日市市の人口動態

11年連続転入超過

令和8年4月発表 住民基本台帳人口移動報告

(令和7年1月～12月)

転入者数 3,437 人 > 転出者数 3,362 人

転入超過者数 75 人

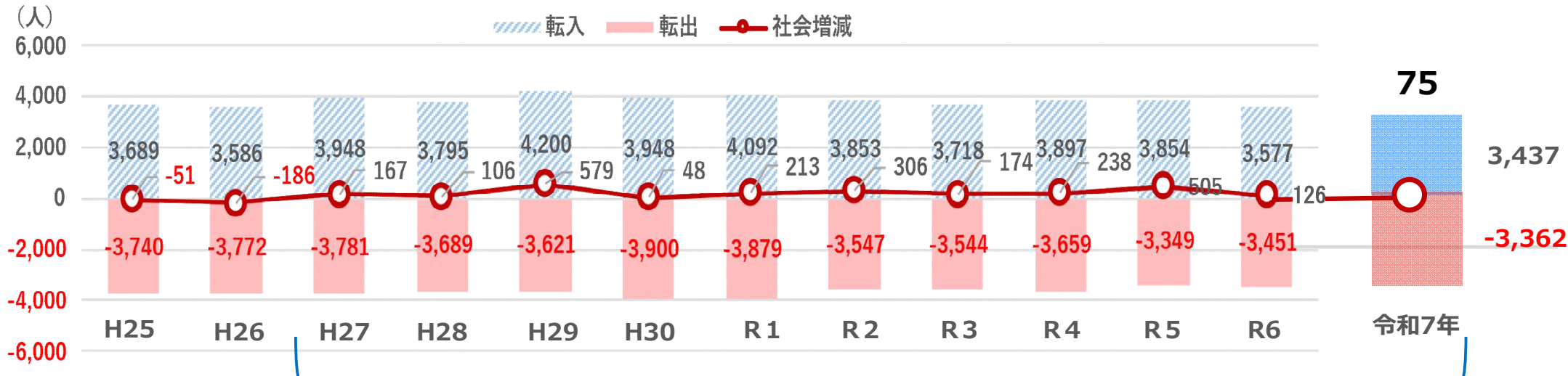
本市への転入者が、市外への転出者を上回る

廿日市市の人口

■ 廿日市市の人口 ■ (住民基本台帳令和8年4月1日現在)

男 55,133 人
女 59,385 人
総人口 114,518 人
世帯数 54,177 世帯

■ 廿日市市 人口の社会動態 ■ (1月～12月)



広島県内の状況

出典：「住民基本台帳人口移動報告」（総務省統計局）



(令和7年1月～12月（単位：人）)

市町	転入者数	転出者数	転入超過者数
廿日市市	3,437	3,362	75
広島市	54,301	56,643	-2,342
呉市	5,449	6,973	-1,524
竹原市	617	756	-139
三原市	2,111	2,446	-335
尾道市	3,090	3,868	-778
福山市	10,103	12,688	-2,585
府中市	692	1,276	-584
三次市	1,290	1,426	-136
庄原市	690	868	-178
大竹市	873	898	-25
東広島市	7,498	7,838	-340

市町	転入者数	転出者数	転入超過者数
安芸高田市	738	855	-117
江田島市	1,127	1,301	-174
府中町	1,997	2,343	-346
海田町	1,478	1,556	-78
熊野町	806	660	146
坂町	572	759	-187
安芸太田町	147	165	-18
北広島町	555	542	13
大崎上島町	370	383	-13
世羅町	382	606	-224
神石高原町	198	230	-32
広島県	98,521	108,442	-9,921

中国地方人口10万人超自治体 人口社会動態

(令和7年1月～12月 (単位: 人))

唯一の転入超過自治体

	市町	転入者数	転出者数	転入 超過者数	人口
1	広島県廿日市市	3,437	3,362	75	114,518
2	島根県出雲市	4,401	4,457	-56	171,029
3	鳥取県米子市	4,374	4,455	-81	142,326
4	山口県山口市	6,652	6,740	-88	186,265
5	山口県防府市	4,541	4,768	-227	111,102
6	広島県東広島市	7,498	7,838	-340	190,361
7	島根県松江市	5,701	6,061	-360	191,403
8	山口県周南市	3,669	4,158	-489	132,173
9	山口県宇部市	3,833	4,401	-568	153,353
10	山口県岩国市	3,372	3,992	-620	121,633

	市町	転入者数	転出者数	転入 超過者数	人口
11	広島県尾道市	3,090	3,868	-778	123,584
12	岡山県倉敷市	11,501	12,310	-809	469,290
13	鳥取県鳥取市	3,611	4,525	-914	175,860
14	山口県下関市	5,315	6,794	-1,479	238,154
15	広島県呉市	5,449	6,973	-1,524	196,461
16	岡山県岡山市	29,776	31,580	-1,804	690,972
17	広島県広島市	54,301	56,643	-2,342	1,165,100
18	広島県福山市	10,103	12,688	-2,585	449,999

年代別 人口社会動態

(単位：人)

年代	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49
転入 超過者数	111	14	13	-28	-110	12	52	28	9	-16

年代	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90歳 以上	合計
転入 超過者数	-1	-3	13	3	-17	-12	-2	-2	11	75

◆転入超過◆

0-4歳及び25歳-39歳の世代の転入超過が顕著

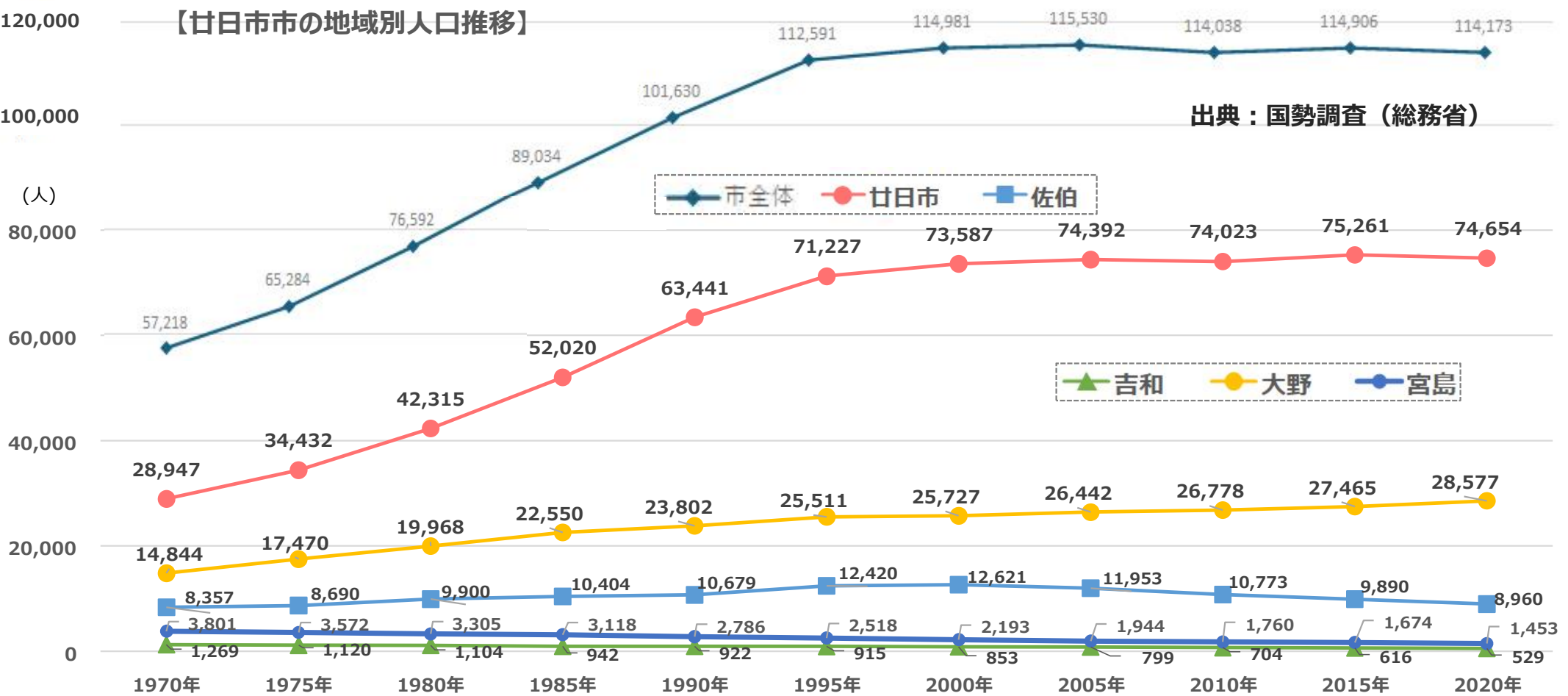


「子育てしやすいまち」として評価

地域別の人口推移

【竹田市地域】人口増加が続いてきたが、近年は横ばい傾向に転換
【佐伯地域】2000年頃まで人口が増加、近年は人口減少が継続

【大野地域】人口が増加傾向
【吉和地域、宮島地域】人口減少傾向が継続



地域別の人口動態【宮島地域】

①社会動態（転入・転出）

	H28年度	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
転入	119	106	88	110	30	47	77	122	122	129
転出	-102	-105	-106	-108	-52	-48	-48	-87	-114	-115
増減	17	1	-18	2	-22	-1	29	35	8	14

②自然動態（出生・死亡）

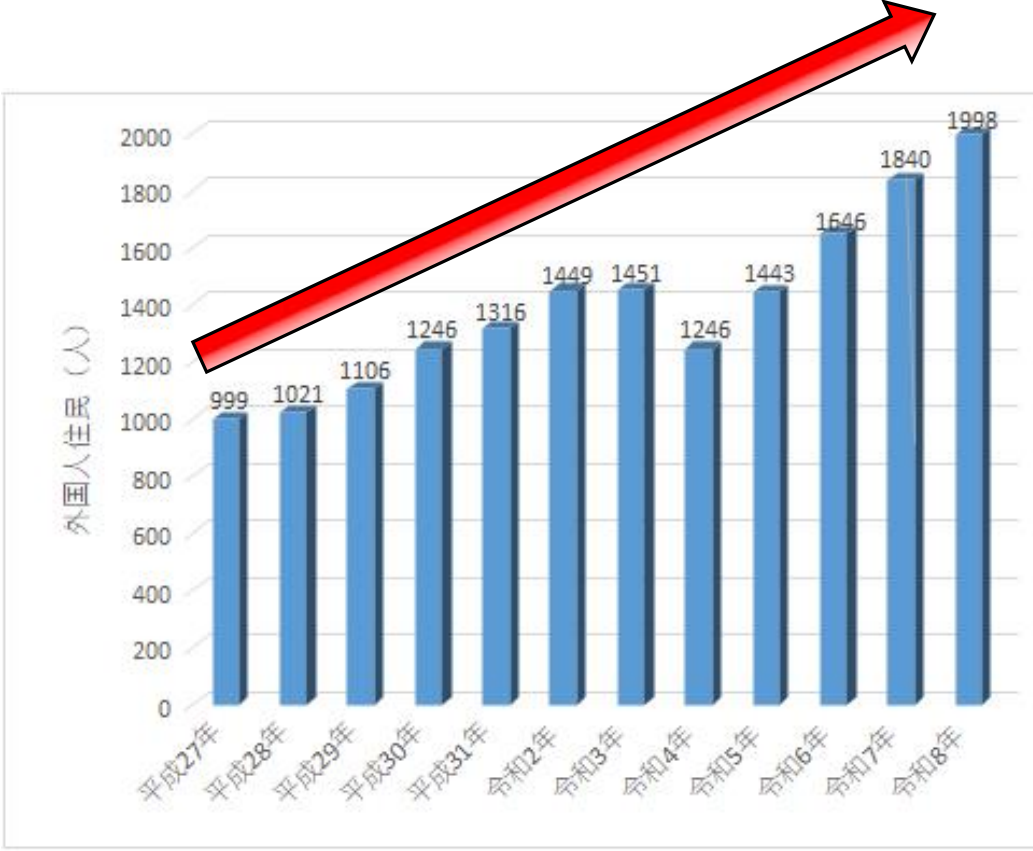
	H28年度	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出生	6	16	7	8	6	5	4	5	7	5
死亡	-32	-31	-28	-31	-20	-35	-27	-35	-34	-29
増減	-26	-15	-21	-23	-14	-30	-23	-30	-27	-24

① + ②（合計）

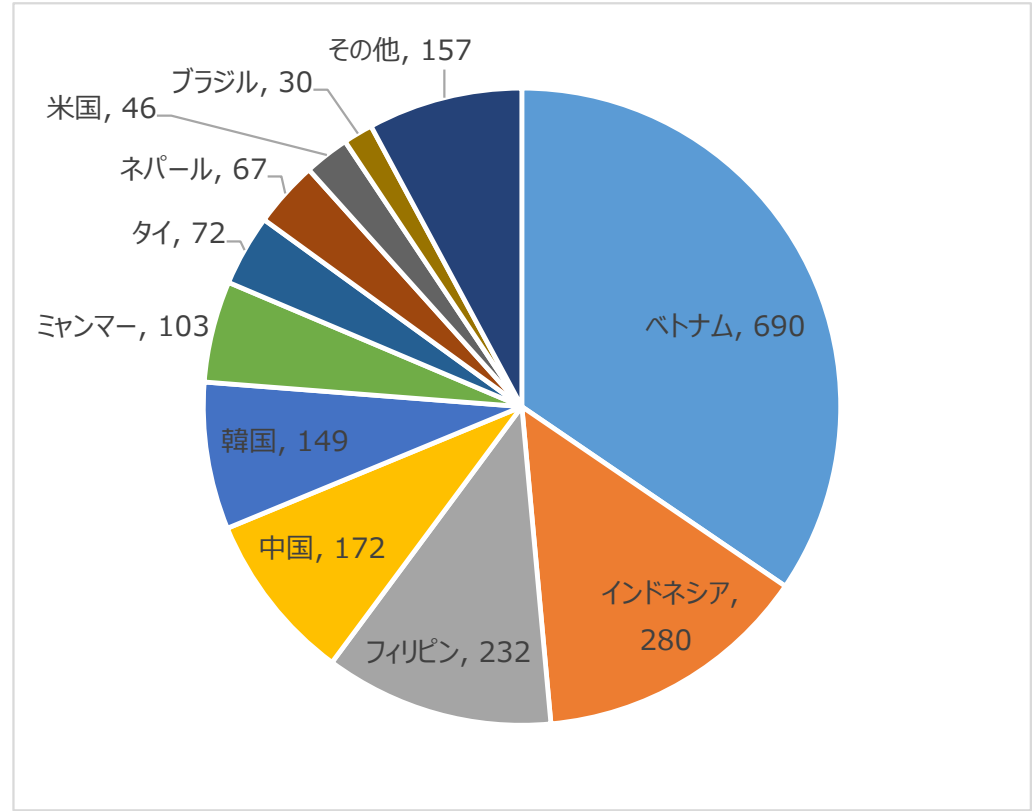
	H28年度	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
増減	-9	-14	-39	-21	-36	-31	6	5	-19	-10

廿日市市の外国人住民の推移と国籍別人口

廿日市市の外国人住民の推移



廿日市市における外国人住民国籍別人口
 (令和8年3月末時点)



令和 8 年度の事業・施策

令和8年度当初予算の基本的な考え方

「さらなるまちの発展を実現する“未来創造予算”」

物価高騰への的確な対応

国の交付金を効果的に活用した 生活者・事業者支援

「はつかいち未来ビジョン2035」の着実な実施

3つの柱「未来を見据えた都市構造の再構築」

「未来をつくる人への投資」

「地域資源の未来への継承」

戦略的な取組

- ① シビックコア地区整備事業
- ② 新機能都市開発事業
- ③ 未来物流産業団地造成事業
- ④ こども若者・子育て支援
- ⑤ 歴史や伝統文化の継承
- ⑥ 持続可能な中山間・宮島地域への対応

持続可能な行財政運営の推進

～ 将来世代への過度な負担の回避と新たな行政需要への財源創出 ～

令和 8 年度当初予算

総額 **1,058.0** 億円

(前年度比 +44.6億円、+4.4%)

一般会計

672.5 億円

(前年度比 +34.7億円、+5.4%)

特別会計 (8 会計)

279.5 億円

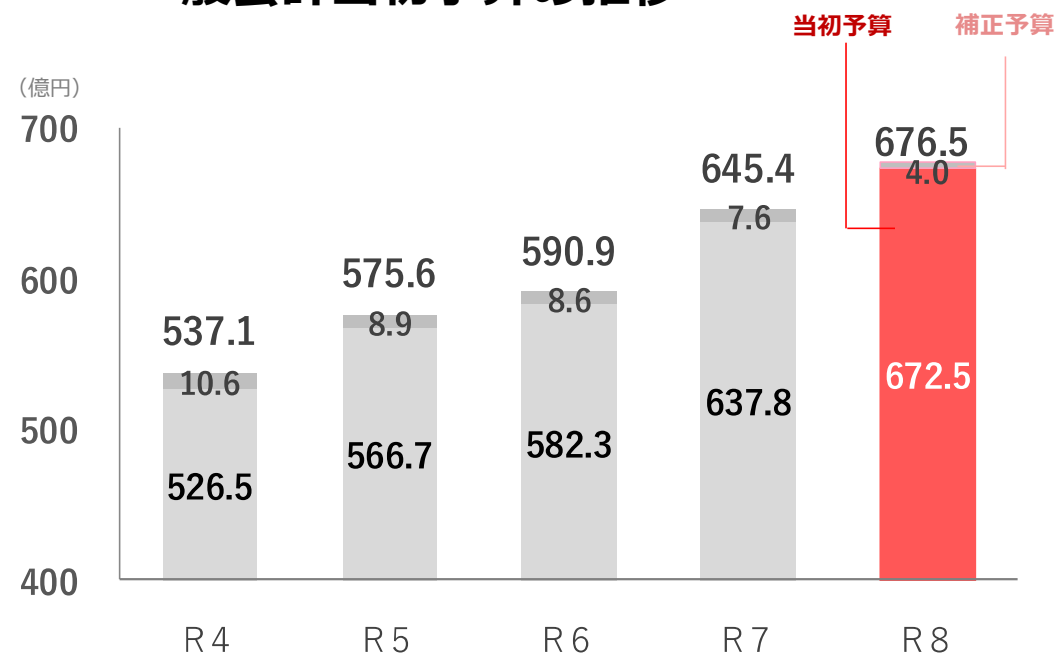
(前年度比 +6.8億円、+2.5%)

企業会計 (2 会計)

106.1 億円

(前年度比 +3.1億円、+3.0%)

一般会計当初予算の推移



物価高騰対策

生活者への支援

学校給食保護者負担軽減策

小学校給食費を恒久的に無償化

効果：一人当たり年間**67,000円**

< 一食当たりの支援イメージ >

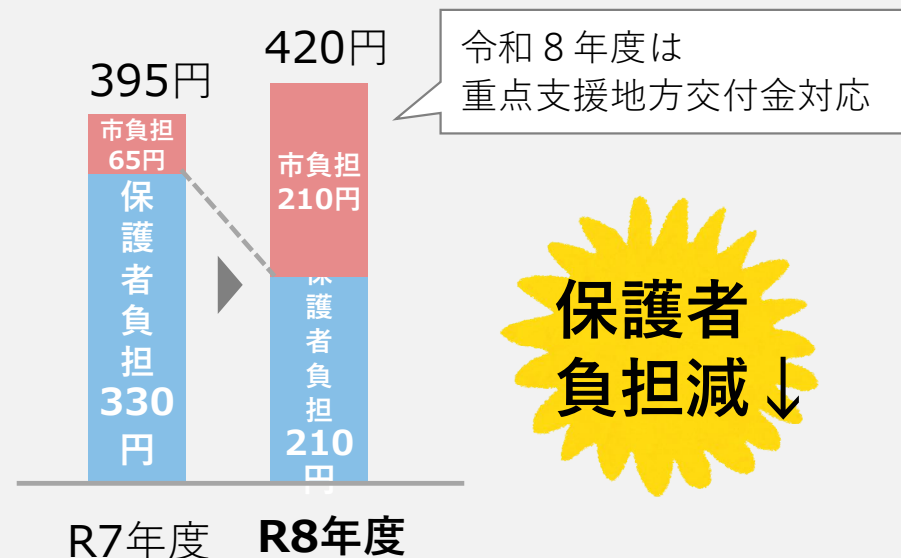


小学校給食費無償化事業負担金等 6,309万5,000円

中学校給食費の半額支援

効果：一人当たり年間**40,000円**

< 一食当たりの支援イメージ >



中学校給食費負担軽減事業負担金 1億1,709万2,000円

生活者への支援

■ 高齢者インフルエンザ予防接種費用の支援（無料）

【10/1～1/31実施】

■ 安全・安心な暮らしの支援

・自転車用ヘルメット着用促進奨励金【4/1～受付中】

・住宅用防犯対策補助金【4/1～受付中】

■ 物価高対応産婦応援手当の支給

■ こども食堂等への支援

など

事業者に向けた支援

各世代が日常生活を営む上で特に必要性の高い分野に重点を置いた支援を実施する。

■ 留守家庭児童会運営支援

■ 生活交通路線の維持確保

■ 社会福祉施設等への支援

■ かき養殖業者への支援

- ・金融機関からの融資に対する利子負担の軽減
- ・かき筏等の資材高騰に向けた支援

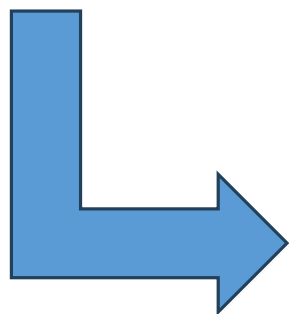
など

「はつかいち未来ビジョン2035」で掲げる

3つの柱

- 1 「未来を見据えた都市構造の再構築」
- 2 「未来をつくる人への投資」
- 3 「地域資源の未来への継承」

戦略的な取組



- ① シビックコア地区整備事業
- ② 新機能都市開発事業
- ③ 未来物流産業団地造成事業
- ④ こども若者・子育て支援
- ⑤ 歴史や伝統文化の継承
- ⑥ 持続可能な中山間・宮島地域への対応

柱1:未来を見据えた都市構造の再構築

未来物流産業団地造成事業

令和10年造成完成

新機能都市開発事業

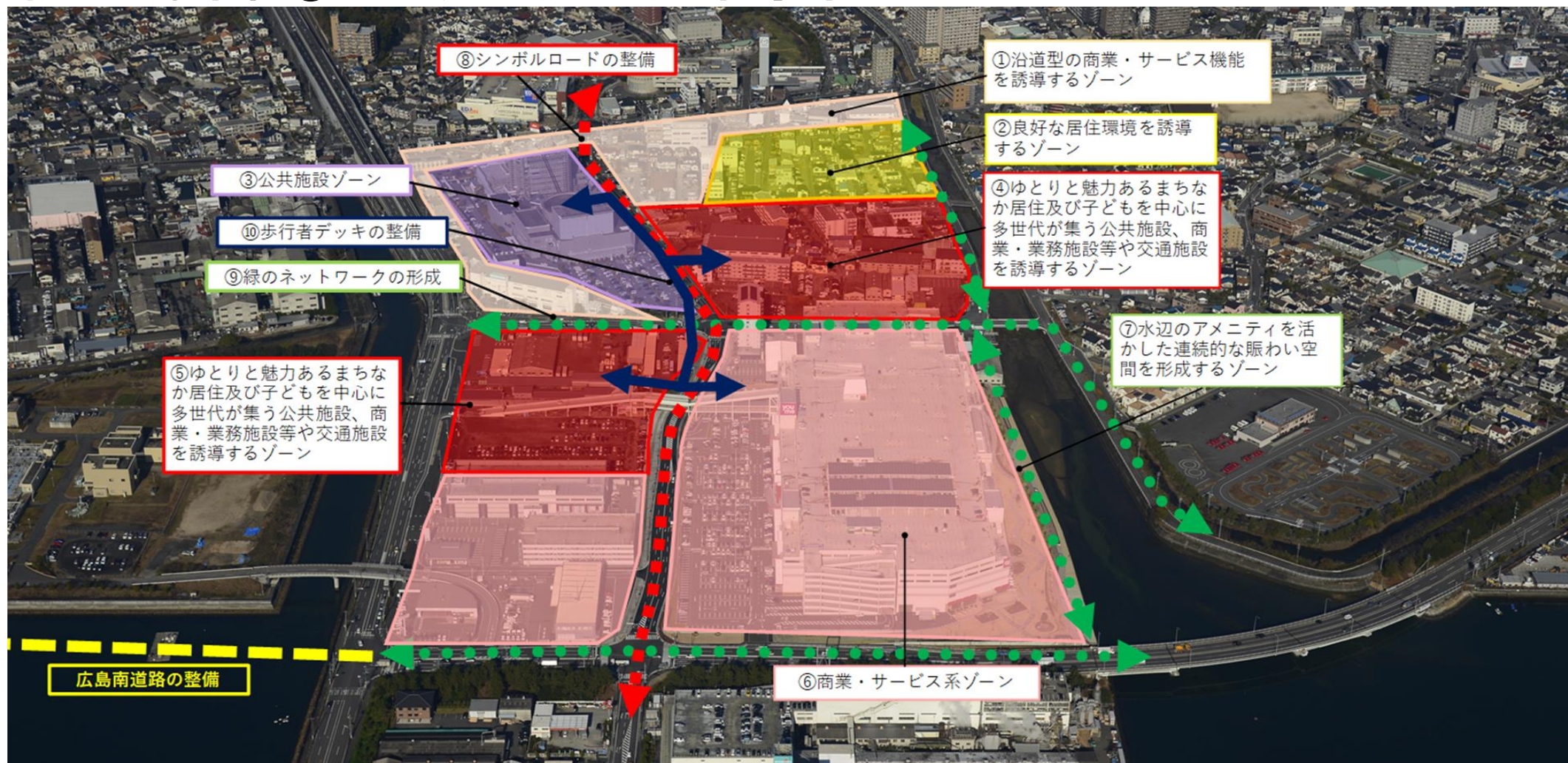
令和9年造成完成

シビックコア地区整備事業



柱1:未来を見据えた都市構造の再構築

戦略的な取組① シビックコア地区整備事業



柱1:未来を見据えた都市構造の再構築

戦略的な取組② 新機能都市開発事業

眺望エリア・ヴィラ



柱1:未来を見据えた都市構造の再構築

戦略的な取組② 新機能都市開発事業

観光交流による新たな経済基盤の形成

～人口減少の影響を受けにくい“まちづくり”へ～



※ 200億円÷130万円/人=約1.5万人 (130万円=定住人口1人当たり年間消費額) 【出所】2019年家計調査 (総務省)

柱1:未来を見据えた都市構造の再構築

戦略的な取組② 新機能都市開発事業

瀬戸内・山陰観光のハブ

～廿日市市から瀬戸内・山陰を盛り上げる～

広域拠点（ハブ）

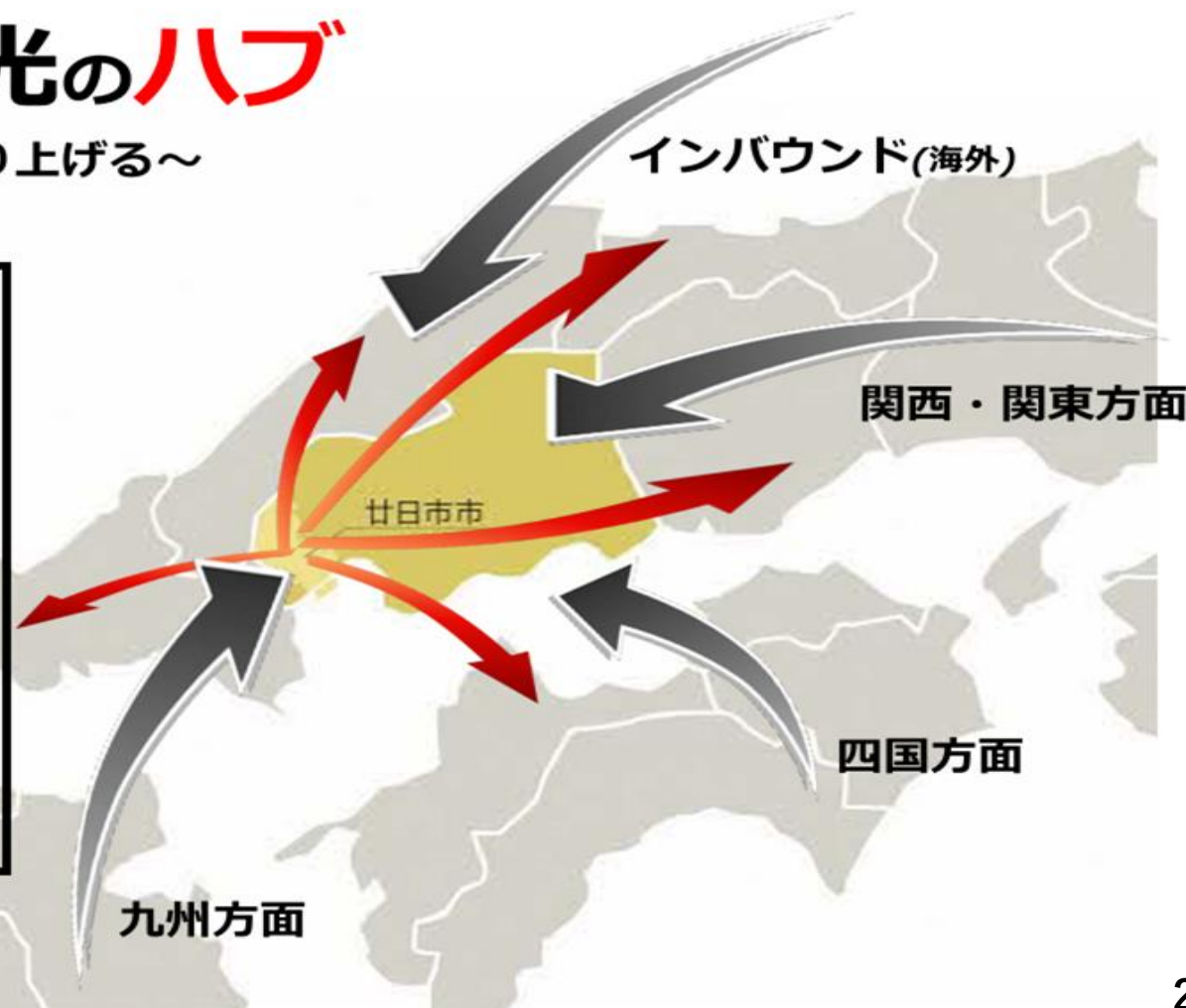
観光・産業・交通の拠点



人が集い、交わる場所



広島・瀬戸内・山陰地方の伝統的な文化や技術の発信・継承



柱2：未来をつくる人への投資

戦略的な取組④ こども若者・子育て支援

こども医療費助成事業

【本市負担額】（歳出影響額※国水準比較）

3億6,217万6千円 ※概算

未就学児

《年間17回の通院のケース》
（市内平均）

1人あたりの医療費／年
→ 32,390円

（内訳）

- ・自己負担額 0
- ・県補助 12,987円
- ・市補助 19,403円

小学生～高校生年代

《年間10回の通院のケース》
（市内平均）

1人あたりの医療費／年
→ 27,180円

（内訳）

- ・自己負担額 5,000円
- ・市補助 22,180円

保育料負担軽減

認可保育園に通う0～2歳児の保育料について、引き続き経済的負担を軽減します。

【本市負担額】（歳入影響額※国水準比較）

1億2,502万2千円 ※概算

《モデルケース》 父・母・子1人 世帯年収：約530万円		保育料 (国水準)	保育料 (廿日市市)	軽減適用内容
第1子	1歳児	44,500円	19,800円	第1子半額

《モデルケース》 父・母・子3人 世帯年収：約530万円		保育料 (国水準)	保育料 (廿日市市)	軽減適用内容
第1子	小学生	—	—	※小学生以上も 兄弟カウントを行う
第2子	2歳児	44,500円	19,800円	第2子半額
第3子	0歳児	44,500円	0円	第3子無償

柱2：未来をつくる人への投資

戦略的な取組④ こども若者・子育て支援

こどもが主役
のまち
はつかいち

子育て環境の整備

こども園の誘致・幼稚園の認定こども園化
医療的ケア児の受入枠の拡大
こども誰でも通園制度
お昼寝用簡易ベッドの導入 など



出産～子育て期の支援

あかちゃんオムツプレゼント
紙おむつ用ごみ箱の設置
保育園のICT化を促進
男性の育児参加の促進 など



柱3：地域資源の未来への継承

戦略的な取組⑤ 歴史や伝統文化の継承

宮島の歴史編さん事業



埋蔵文化財の価値の発信



伝統的建造物群保存地区保存事業



(仮称) 宮島ミュージアム整備

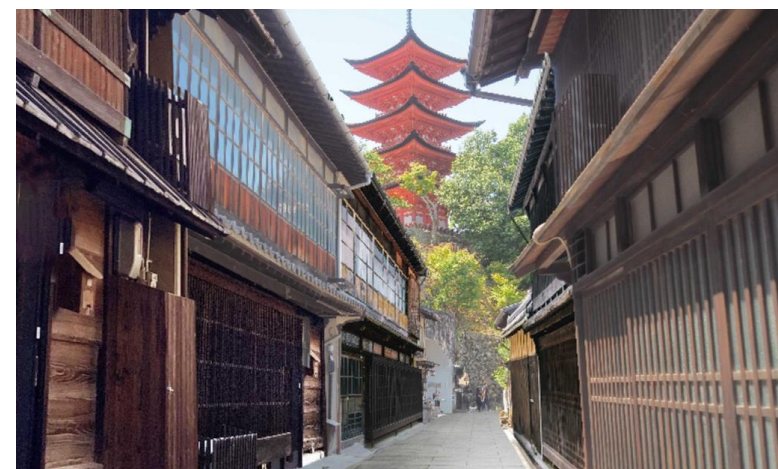
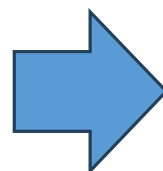
柱3：地域資源の未来への継承

戦略的な取組⑥ 持続可能な中山間・宮島地域の対応

宮島地域の消防力の強化



無電柱化の推進



戦略的な取組⑥ 持続可能な中山間・宮島地域の対応

包ヶ浦自然公園利活用推進事業

【令和7年度の取組】

- ✓ 生物現況調査（秋・冬）等の実施
- ✓ 包ヶ浦自然公園の整備計画策定に向けた住民ワークショップ等の実施
- ✓ 公募条件等の検討に向けた事業者サウンディングの実施



戦略的な取組⑥ 持続可能な中山間・宮島地域の対応

包ヶ浦自然公園利活用推進事業

【令和8年度の取組】

- ✓ 生物現況調査（春・夏）の実施
- ✓ 包ヶ浦自然公園整備計画の策定
- ✓ 事業者公募の実施



宮島訪問税を活用した主な取組

令和7年宮島来島者数 約497万人 訪問税収 約4億円

1. 自然保護・自然との共生

〔事業系ごみの処理や清掃活動
自然公園や登山道の維持管理 など〕



2. 文化振興・歴史的景観の保全

〔文化財や歴史文化の保存・活用
伝統産業の継承・普及促進 など〕



3. 国際観光地としての観光の質・満足度の向上

〔観光施設の維持管理・受入環境整備
観光客へのマナー啓発 など〕



4. 安全性・利便性の向上

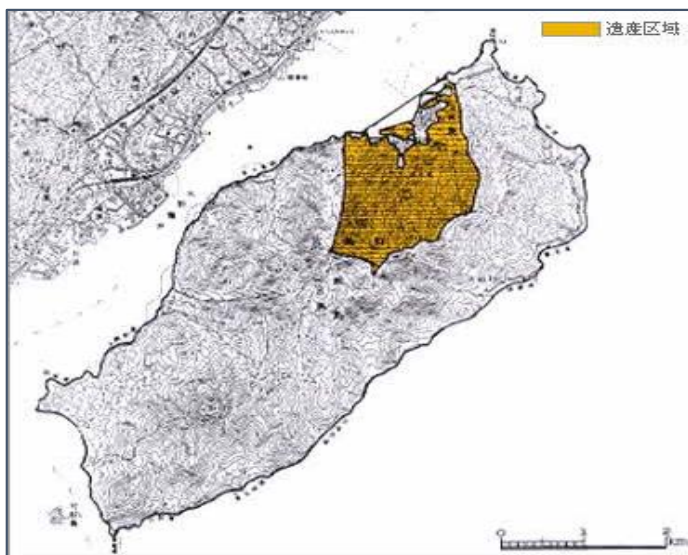
〔島内乗合タクシーやフェリーの運航支援
観光客を含めた防災対策・消防施設の維持管理 など〕



世界遺産登録30周年記念事業

1996年（平成8年）12月7日に、宮島・厳島神社は、世界文化遺産に登録された。

2026年（令和8年）は、原爆ドーム（広島市）とともに、30周年を迎えることから、この機会を活用し、国内外からの観光客に向けた観光プロモーションや、地域住民や事業者を巻き込んだイベント等を実施する。



世界文化遺産として登録された区域は、社殿を中心とする厳島神社と、前面の海、及び背後の弥山原始林(天然記念物)を含む森林区域431.2ヘクタールで、島全域の約14パーセントを占める広い範囲にわたっています。



世界遺産登録30周年記念事業

① 世界遺産登録30周年記念事業

実施主体：広島県・広島市・廿日市市

- 世界遺産サミット
- 路面電車企画
- 他都市プロモーション
- 体験型周遊イベント 等

② 厳島神社世界遺産登録30周年記念事業

実施主体：宮島観光協会・廿日市市・地元関係者等

- 厳島神社夜間拝観
- 厳島神社宝物名品展
- ナイトロープウェー
- 奉祝舞楽奉奏

③ フランスプロモーション

- フランスでの観光プロモーション活動
- 厳島神社30年のあゆみ写真展
- ガストロノミー交流事業 等



「はつかいち未来ビジョン2035」に掲げる 10年後のまちの将来像

『安心に包まれ ワクワクが広がる
未来への挑戦を楽しむまち つなぎ
つながりとともに歩む』